

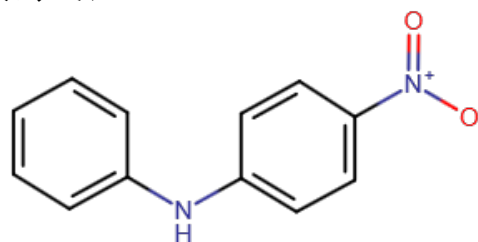
## 初期評価プロファイル (SIAP)

## 4 - ニトロジフェニルアミン

物質名 : Benzenamine,4-nitro-N-phenyl

化学式 : C<sub>12</sub>H<sub>10</sub>N<sub>2</sub>O<sub>2</sub>

CAS No. : 836-30-6



## 結論と勧告

## 環境

4 - ニトロジフェニルアミン (4 - NDPA) は生分解されないが、生物蓄積し、水生生物に対して毒性を持つ。しかしながら PEC/PNEC の比は 1 よりも小さい。本物質は現在のところリスクの可能性が低く、追加の作業の優先度が低いと考えられる。

## 健康

本物質はメトヘモグロビン血症を引き起こす可能性があるが、ばく露は低レベルである。本物質は現在のところリスクの可能性が低く、追加の作業の優先度が低いと考えられる。

## 勧告を裏付ける理由の概要

本物質が製造される場所は世界でも限られた数しかない。本物質は工業的使用のための化学物質中間体としてのみ製造され、したがって基本的に全部が還元的アルキル化反応製造工程で消費される。消費者ばく露はない。

本物質は経口でも吸入でも急性毒性を持たない。亜慢性試験では体重増加率の低下、腎臓・肝臓・脾臓に対する組織病理学的影響、軽微な貧血、メトヘモグロビン血症の増加が示された。生殖への有害性影響も遺伝毒性も検出されていない。

本物質は皮膚と眼に対して刺激性を持たず、本物質が皮膚感作を生じるという証拠は存在しない。

ヒトでは 4 - NDPA はニトロ芳香族構造を持つことから、メトヘモグロビンの生成を引き起こす可能性があると考えられる。

4 - NDPA は水生無脊椎動物に対して急性毒性を持つ。本物質は容易に生分解されず、分配係数から生物蓄積の可能性が示される。本物質は難分解性で、ゆっくりとしか光分解されない。

環境放出源は製造であり、非常に少量である。代表的な工場では、廃水は現場で処理されたのち水環境に放流される。製造現場から出る蒸発残滓からなる固体廃棄物は焼却される。

結論として、4-NDPA は試験により環境中で難分解性であることが示され、製造活動による環境残留物は検出されていない。本物質はリスクの可能性が低く、追加の作業の優先度が低いと考えられるが、水生生物への毒性が高いため、製造現場からのリスクの可能性はある。

[著作権および免責事項について]

[著作権]

本資料の著作権は弊センターに帰属します。引用、転載、要約、複写（電子媒体への複写を含む）は著作権の侵害となりますので御注意下さい。

[免責事項]

本資料に掲載されている情報については、万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う一切の行為について、弊センターは何ら責任を負うものではありません。また、いかなる場合でも弊センターは、利用者が本情報を利用して被った被害、損失について、何ら責任を負いません。